



II. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	地域活性化措置	浪岡地区コミュニティバス運行业務委託事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		青森市	
交付金事業実施場所		青森市浪岡地区一円	
交付金事業の概要		浪岡地区における公共交通空白地区の解消及び地区内各地域と浪岡駅や浪岡病院等の主要拠点を結ぶ「地域の足」の確保のため、コミュニティバスを運行することにより、地域内交通の利便性の向上を図るものです。（運行业務委託9か月分）	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関係する主要政策・施策                      青森市総合計画前期基本計画（2019年度～2023年度）                      第5章 つよい街                      第3節 交通インフラの充実                      第2項 域内交通の充実                      ・都市づくりと連携しながら、公共交通機関の相互連携や利便性の向上により、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの形成を図ります。</p> <p>目標                      公共路線バスの年間乗車人数（市営バス、市民バス、浪岡地区コミュニティバス、シャトル・ルートバスの年間利用者数） 7,772,641人</p>	
事業開始年度		令和4年度	事業終了（予定）年度 令和4年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和4年度
	域内交通の 利便性向上	浪岡地区コ ミュニティ バス利用者 数	成果実績	人	9,578			
			目標値	人	9,563			
			達成度	%	100.2			
	評価年度の設定理由							
	成果実績を測定し次第、評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	<p>浪岡地区コミュニティバスの利用者の多くは70歳代以上の高齢者で、浪岡病院への通院目的での利用が最も多い状況であり、利用者数は年々減少していますが、浪岡地区内の高齢者人口や浪岡病院利用者数、動態調査による利用者状況（年齢、利用目的等）に大きな変化は見られないことから、地区住民の高齢化に伴う生活様式の変化をはじめとする様々な要因が考えられます。</p> <p>しかしながら、本交付金の活用は、浪岡地区の高齢者や障がい者等の自ら交通手段を持たない住民の日常の交通手段を確保する観点から極めて重要であるため、動態調査の結果や市民要望等を踏まえ、今後も継続して実施していきます。</p>							
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	浪岡地区コミュニティバスの延べ運行日数		活動実績	日	199	199	200	
			活動見込	日	199	199	200	
			達成度	%	100	100	100	
交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考				
総事業費	11,667,000	11,685,000	11,692,000	令和2年度～令和4年度 総額 40,401,000円				
交付金充当額	11,667,000	11,685,000	11,692,000					
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	11,667,000	11,685,000	11,692,000					

交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	運行业務委託	随意契約	弘南バス株式会社	13,590,000
交付金事業の担当課室	企画部財政課			
交付金事業の評価課室	企画部財政課			